

人生で大切なことは
みんな
伊勢神宮が教えてくれた

Ise jingu taught me Everything That Matters in Life

株式会社 翠紅舎

代表取締役 河井尊臣

Suikoushya CEO

Takami Kawai

自己紹介 Self Introduction

・昭和52年生まれ B

・Born in the year Showa 52 (1977)

・鹿児島大学建築学科を卒業

・Graduated from Kagoshima University's architectural program

・かやぶきの里で知られる美山町にて古き良き日本の原風景を守るために大工として活動開始

・Began working as a carpenter in Miyama, a small village known for its thatched-roof

・houses, preserving the good old Japanese landscape.

・第62回伊勢神宮式年遷宮に造営大工として参加

・Participated in the 62nd Shikinen Sengu (the ceremonial rebuilding ritual) of Ise Jingu.

・2016年4月、月讀宮以下12別宮の遷宮祭が全て執り行われたことを以て諸事完遂となり、現在故郷の京都市で翠紅舎を設立

・In April 2016, Suikoushya was established in my hometown, Kyoto, after the completion of the Shikinen Sengu of Tsukiyomi-no-miya and 12 other shrines.

・2018年5月、英語で学べる日本の木工学校Suikoushya Internatinal Craft Schoolを開校

・In May of 2018, opened Suikoushya International Craft School where I started teaching Japanese carpentry in English

こうだいじんぐう とようけだいじんぐう
皇大神宮と豊受大神宮
The Inner Shrine and the Outer Shrine
(Koudai-jingu and Toyouke-daijingu)



内宮
Inner Shrine (Naikū)



外宮
Outer Shrine (Gekū)

配置図

Layout of Ise Jingu



内宮
Inner Shrine (Naikū)



外宮
Outer Shrine (Gekū)

じんぐうしきねんぞうえいちょう
神宮式年造営庁

The agency of the Rebuilding Ceremony
(Jingu shikinen zoeicho)



平成十七年一月、神宮式年造営庁発足。
真新しい看板を神宮司庁玄関に掲げる北白川道久大宮司と高城治延少宮司。

・所属 **造営部**

・Department – Construction Department

・役職 **小工（こだくみ） 109**

・Role – Kodakumi carpenter 109

遷宮諸祭・諸行事

Rituals・Events

平成十七年

山口祭

1

木本祭

御袖始祭

御樋代木奉曳式

御船代祭

御木曳初式

木造始祭

御木曳行事(第一次)

仮御樋代木伐採式

御木曳行事(第二次)

鎮地祭

宇治橋渡始式

立柱祭

御形祭

上棟祭

檐付祭

蔓祭

御白石持行事

御戸祭

御船代奉納式

洗清

心御柱奉建

杵築祭

後鎮祭

御装束神宝誦合

川原大祓

御飾

遷御

大御饌

奉幣

古物渡

御神楽御饌

御神楽

平成二十五年

平成二十四年

平成二十一年

平成二十年

平成十九年

平成十八年

やまぐち
山口祭

The Ritual at the Mouth of the Mountain
(Yamaguchi-sai)



このもと 木本祭

Prayers to the Tree Diety (Konomoto-sai)



両宮遷宮旧式祭典図〈皇大神宮〉山口祭檜尾山心御柱行事図

平成十七年五月

木本祭

新殿の御床下中央に奉建する心御柱の御料木を伐採するにあたりその御木の本に坐す神を祭る。古来、極めて神秘の祭儀とされ奉仕員以外は職員といえども見ることは叶わぬ。今回の木本祭では初めて内宮における修祓の儀を撮影した。

平成十七年	山口祭 御始祭 御始代奉曳式 御始代祭 御木曳初式
平成十八年	木造始祭 御木曳行事(第一次) 飯御種代木伐採式 御木曳行事(第二次)
平成十九年	鎮地祭
平成二十年	宇治橋渡始式
平成二十一年	立柱祭
平成二十四年	御影祭 上棟祭 機付祭 爰祭
平成二十五年	御白石持行事 御戸祭 御船代奉納式 洗清 心御柱奉建 杵祭祭 後鎮祭 御妻奥神宮祝合 川原大祓 御飾 大御饗 奉幣 古物渡 御神楽御饗 御神楽

みそまはじめさい 御杣始祭

The Felling Ritual (Misoma-hajime-sai)



右内宮、左外宮の御木と共に推進御籠百年の本曾檜

平成十七年六月三日 午前十時

雨上りの晴天の中、長野県木曾郡上松町木曾谷国有林を祭場として盛大な祭儀が行われた。



右内宮の御木、左外宮の御木を交差するように伐採される

うらきそごようざいばっさいしき
裏木曾御用材伐採式
Sacrad Urakiso Tree Cutting Ritual
(Urakiso-goyozabassai-shiki)



祭儀に続き三ツ尾伐りでの伐採が始まる。斧を入れる音が心地よく山々にこだまする。



小丁が忌符を打ち振るう。

みひしろぎほうはん 御樋代木奉搬

Carrying the Sacred Material (mihishirogi-hohan)



御輿や花車が御神木を先導、村に揃いの浴衣姿があふれた。



御神木はたくさんの人々の手で奉安所に。



前日、上松町の木曾谷国有林を出た御神木は御祖山を下り、夕刻に麓、小田野にある物産館「よるまいか」前の広場に到着し、安置された。

この日は、二台の奉曳車で上松駅前奉安所まで奉曳。揃いの浴衣姿の地元の人々が歌う木遣りにのせて、御輿や花車が先導する中、二十人が車を曳き、奉安所では巫女舞などが奉納された。

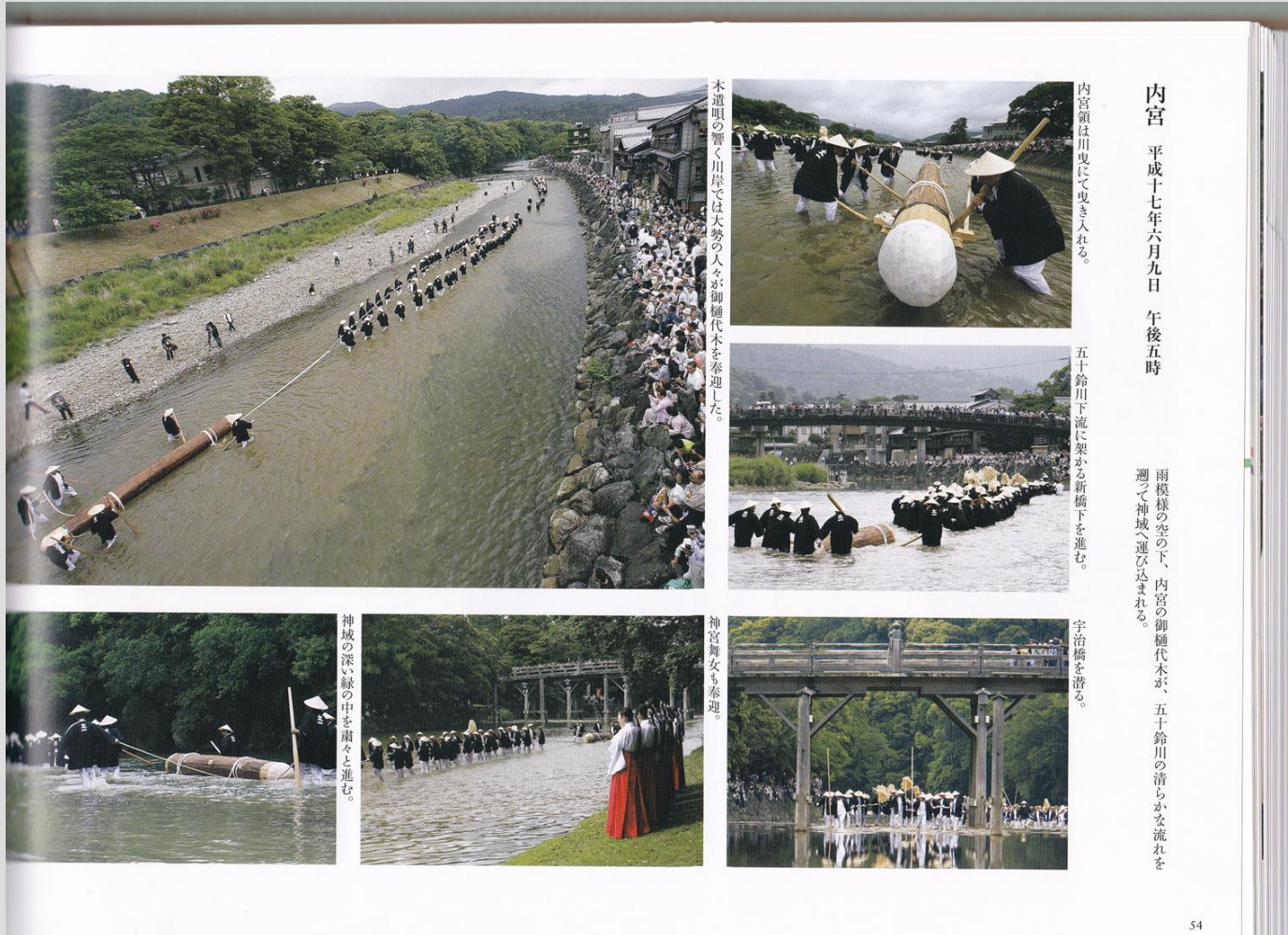
御樋代木は「御神木」と呼ばれ、地元の人々に曳かれて奉安所へ運ばれる。

六月四日

みひしろぎほうえいしき

御樋代木奉曳式

The Transportation of the Sacred Material (Mihishirogihoei-shiki)



みふなしろさい 御船代祭

The Ritual of the Sacred Boat Shaped Box of Mifunashiro (Mifunashiro-sai)



木本に坐す神に忌物神饌白題が供えられる。



内宮正宮奉仕の森晃三郎くん。



忌鍬を捧げ持ち忌物を地中に納め奉る。

おきひきぞめしき 御木曳初式

Ceremony of the First Wood into the Sanctuary (Okihikizome-shiki)



大庭で御用材は慎重に下ろされる。



北御門では造営庁参事以下が出迎える。



三本の御用材を技監が検知し、神職等は正宮へと参拝に向かった。



北御門鳥居内での修祓。

こづくりはじめさい
木造始祭

Ritual for Carpenter's Safety
(Gozukurihajime-sai)



おきひきぎょうじ 御木曳行事

The Pulling Over Land Ceremony (Okihiki-gyoji)



皇太子殿下の川曳御視察。(平成十九年七月二十一日)



池田神宮祭主も陸曳の縄を曳かれた。(平成十八年五月二十日)



池田神宮祭主は川曳にも参加された。(平成十九年七月十九日)



秋篠宮殿下、眞子内親王殿下の川曳御視察。(平成十八年七月三十日)

かりみひしろぎばっさいしき
仮御樋代木伐採式

Ceremony to Log the Wood for Karimihishiro
(karimihishirogibassai shiki)



ちんちさい
鎮地祭

Land Purifying Ritual
(Saichi-sai)



うじばしわたりはじめしき
宇治橋渡始式
Crossing of the Uji Bridge
(Ujibashi-watari-hajime-shiki)



りっちゅうさい
立柱祭

The Pillar Erecting Ceremony
(Ritchu-sai)



ごぎょうさい 御形祭

The Gogyo Ceremony (Gogyo-sai)



外宮は晴儀で行われた。



式次第は内宮同様である。



外宮での御形祭参進

じょうとうさい 上棟祭

The Ridge Beam Ceremony (Joto-sai)

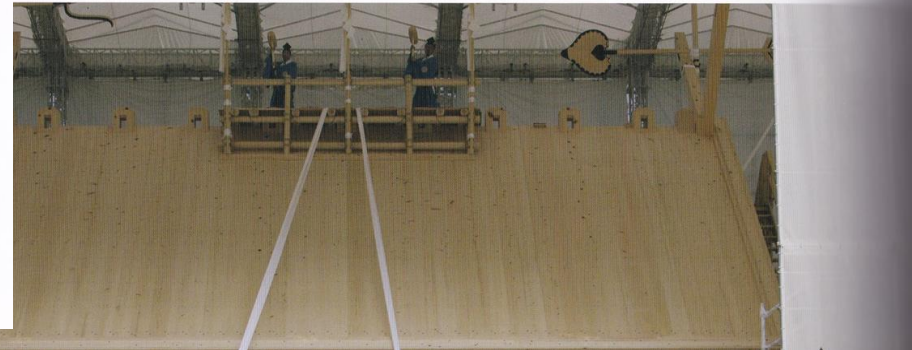
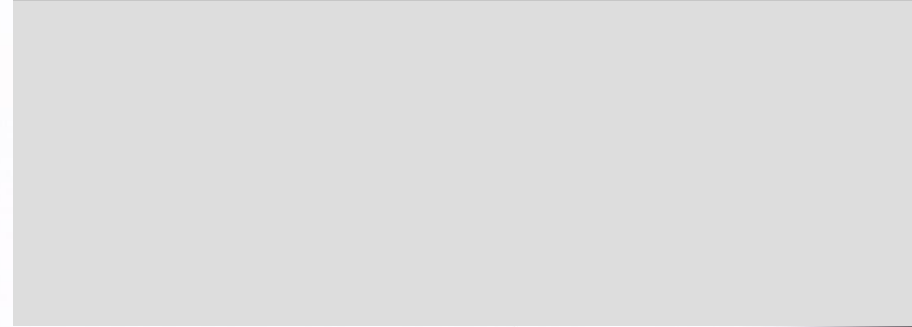


掛け声に「オ」と応え、御棟木を打ち固める。

棟上より西北に向かい、餅を敷き御棟木奉揚の儀は終わる。

続いて神事が始まる。

屋船大神に神饌が供えられる。

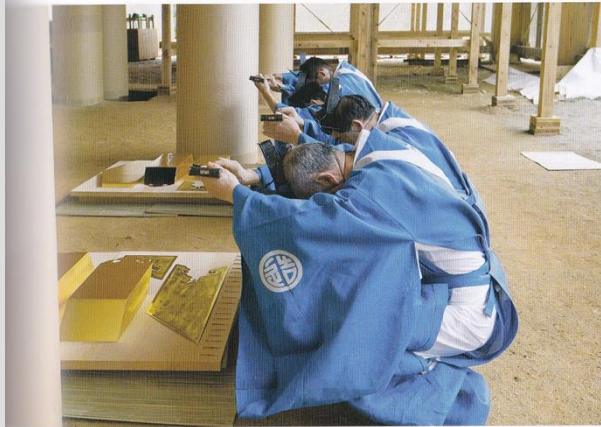


のきつけさい
檐付祭
The Thatching Ceremony
(Nokitsuke-sai)

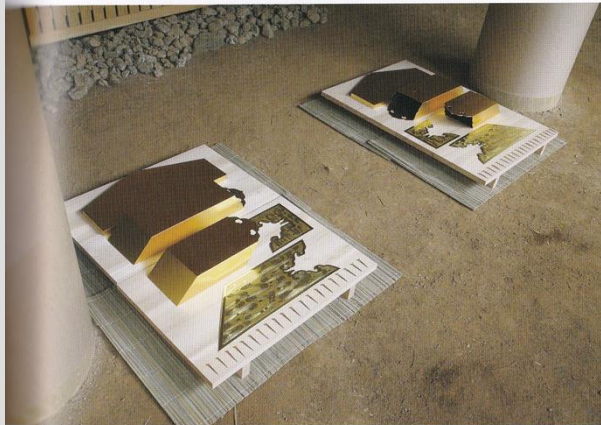


いらかさい 葺祭

The Gable End Ceremony (Iraka-sai)



小工四名が金槌を持ち御金物を打ち奉る所作を行う。



御覚覆千木・御形短柱の御金物と鉄釘が並ぶ。



新正殿床下に備えられた御金物の前で祈りが捧げられる。

おしらいしもちぎょうじ
御白石持行事
The White Stones Carrying Event
(Oshiraishimochi-gyoji)



新正殿の周りには全て御白石が敷かれた。



内宮領、川曳の団は櫓で陸路を曳く。



官川の川原で拾い、清めた御白石。
篠町

きやり
木遣り
The Work Song of “Kiyari”



みとさい 御戸祭

Sacrad Door Ceremony (Mito-sai)



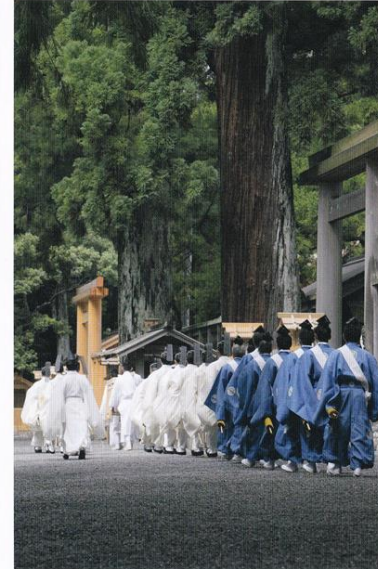
続いて多賀宮でも御戸の穴が穿たれた。



御戸の鑿穴を穿つ鑿と木槌。



修祓を終え参進。



神饌は新宮へ、造営庁の主事・小工は正宮へと進む。

外宮 平成二十五年九月十五日 午前十時

外宮は曇天。雨儀での祭典準備が行われた。殿外の造作はこの祭典で完了することとなる。

みふなしろほうのうしき
御船代奉納式
Mifunashiro Placing Ceremony
(Mifunashirohono-shiki)



面寛瀨宮旧式祭典図（皇大神宮）御船代祭典図

あらいきよめ
洗清

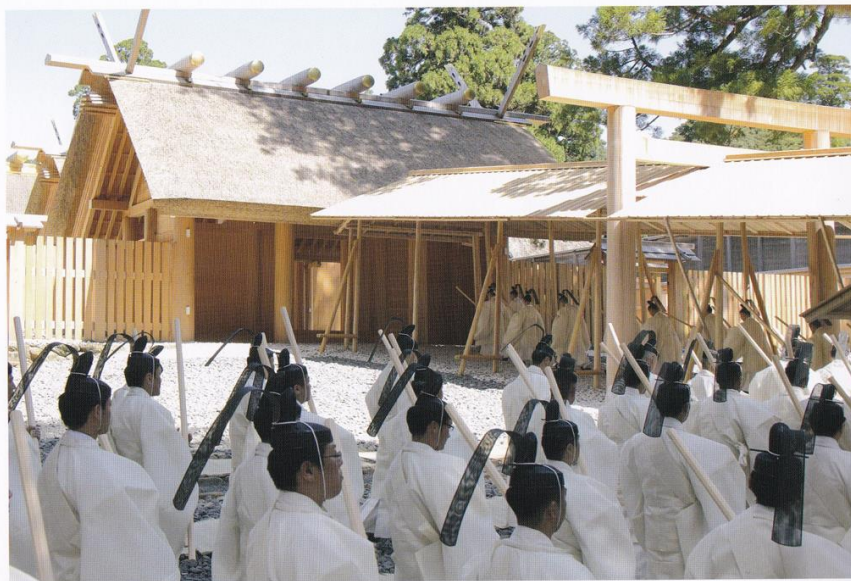
Purification Ceremony (Araikiyome)

しんのみはしらほうけん
心御柱奉建

The Sacred Core Pillar Ceremony (Shinnomihashirahoken)

こつきさい
杵築祭

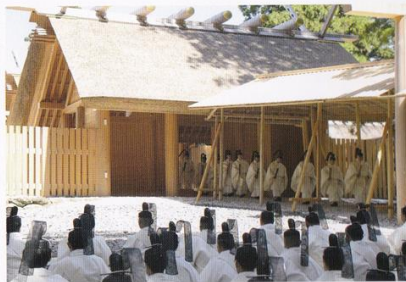
Ground Consolidation Ceremony (Kotsuki-sai)



内院へ進み古歌を歌いながら御柱根を撞き固める。



諸儀式が滞りなく行われた。



大宮司以下が倭舞を奉仕した。

かしこしや五十鈴の宮の杵築してけり
杵築してけり
国ぞ栄ゆる 郡ぞ栄ゆる 万代までに 万代までに
天照す大宮 廻かくしつ仕へまつらん
かくしつ仕へまつらん
万代までに 万代までに

ごちんさい 後鎮祭

Deities Appreciation Ceremony (Gochin-sai)



物忌の童女も奉仕。



内院へ進む。



おんしょうぞくしんぽうどくごう
御装束神宝読合
Costume Treasure Reading
(Onshozoku-shimpo-dokugo)



かわらおおはらい
川原大祓

Purification Ceremony at the River Bank
(Kawaraooharai)



おかざり
御飾

Decorating the Inside
(okazari)



遷御当日

The Day of the Relocation



遷御の直前
古代へタイムスリップ
ムササビが

Just before the move
Time travel to olden times
A flying squirrel

せんぎよ
遷御
Relocation
(Sengyo)



遷御の次の日

The Day after the Relocation

おおみけ
大御饌

The Sacred Food Offering Ceremony
(Oomike)



遷御後初めての
大御饌が
献い、清められる。

ほうへい
奉幣

The Offering Ceremony
(Houhei)



こもつわたし 古物渡

The Transfer of the Sacred Treasures (Komotsu-watashi)



正宮を退出の後、別宮遙拝。



おかぐらみけ
御神楽御饌

Sacrad Food Offering Ceremony
(Okagura-mike)



神饌には権禰直が副従する。



祭儀終了別宮遙拝。

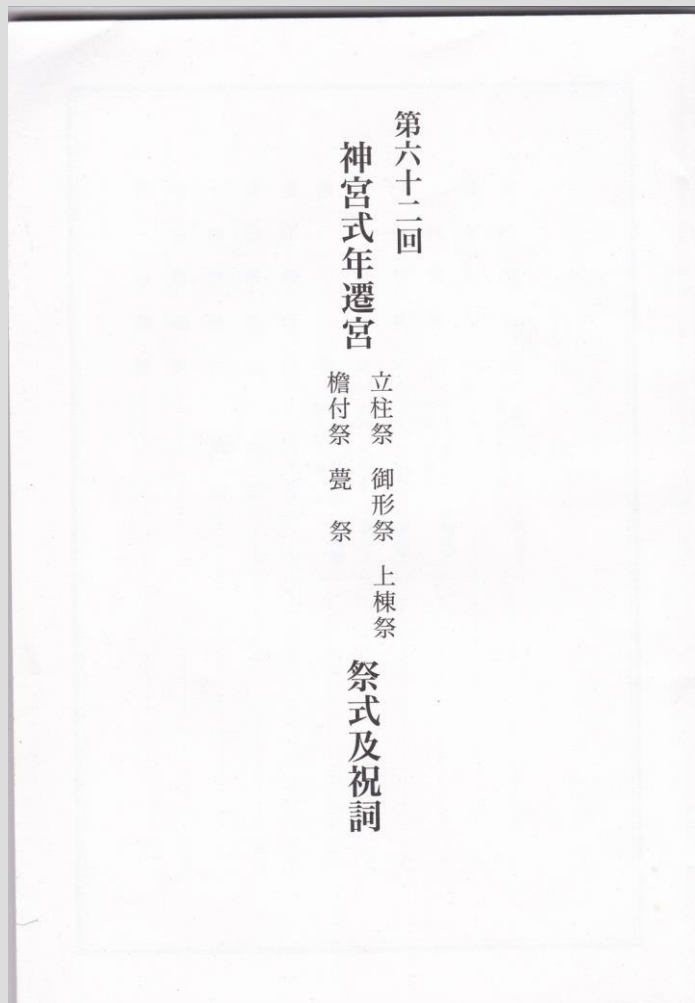


おかぐら
御神楽

Court Music and Dance Ceremony
(Okagura)



さいしきおよびのりとだいちょう
祭式及祝詞台帳
Ceremonial Prayers
(Saishikiyobinoritodaicho)



ぞうたいせんぐう 造替遷宮

Repair and Rebuild (Zotai-sengu)



むなもちはしら 棟持ち柱

Ridge Supporting Pillar (Munamochi-hashira)



御正殿を建てる新御敷地で、一番最初に棟持ち柱が立てられた。

内宮



材料の確保

Securing the Material



建て方

Method of Construction



内宮は桁の上に梁が載る京呂組。



壁板が柱の小穴に落とし込まれる。



床下の四間槽や足堅が組まれていく。



棟木の上に千木が交差する。



柱、壁板、梁桁組が完成後、柱根を突き固める。

せんぐうかん

Sengu Museum
(seiguu-kan)



伊勢神宮行きへのきっかけ

The impetus to go to Ise Jingu Shrine



勤務中、帰宅中の小工

A Kodakumi Carpenter At Work and At Home



作業着は白

Workclothes are white

朝拝

Chohai

(Morning Worship Ritual)



約130人の作業員

Around 130 carpenters

- 小工 約60人 Kodakumi – around 60 carpenters
- 3回目 3人 Third Time – 3 carpenters
- 2回目 25人 Second Time – 25 carpenters
- 県外 20人 Out of Prefecture – 20 carpenters

外宮担当

In Charge of the Outer Shrine



とうほうでん さいほうでん
東宝殿、西宝殿

The East Treasure Hall and the West Treasure Hall
(Douhouden, Saihouden)



東宝殿。



西宝殿。内院の御正殿南側に東西に両宝殿が北面して建つ。



御正殿高欄。居玉の数、配置は内宮と若干異なる。



御正殿御階。高欄越しに朝日が照り込む。

いたがき
板垣
Board Fence
(Itagaki)



げくう だいいちとりい
外宮 第一鳥居
Outer Shrine – The First Torii Gate
(Geku-daiichitorii)



外宮 第一鳥居

Outer Shrine – The First Torii Gate



外宮 第一鳥居

Outer Shrine – The First Torii Gate



おもててみずしゃ
表手水舎

Front Water Ablution Pavilion
(Omote-temizusha)



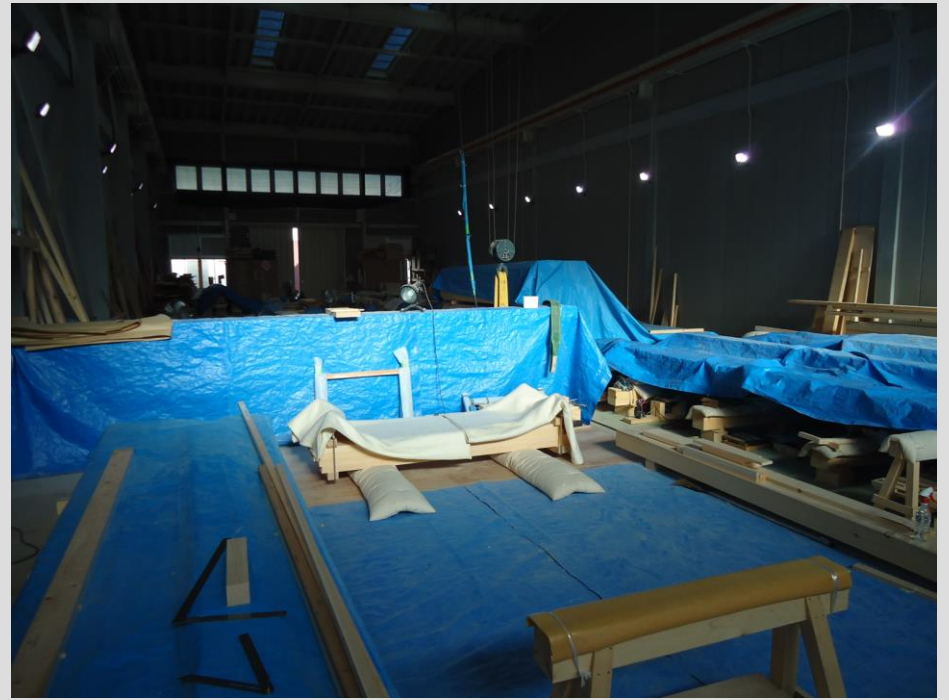
きたごもんてみずしや
北御門手水舎

Water Ablution Pavilion at the Northern Gates
(Kitagomon-temizusha)



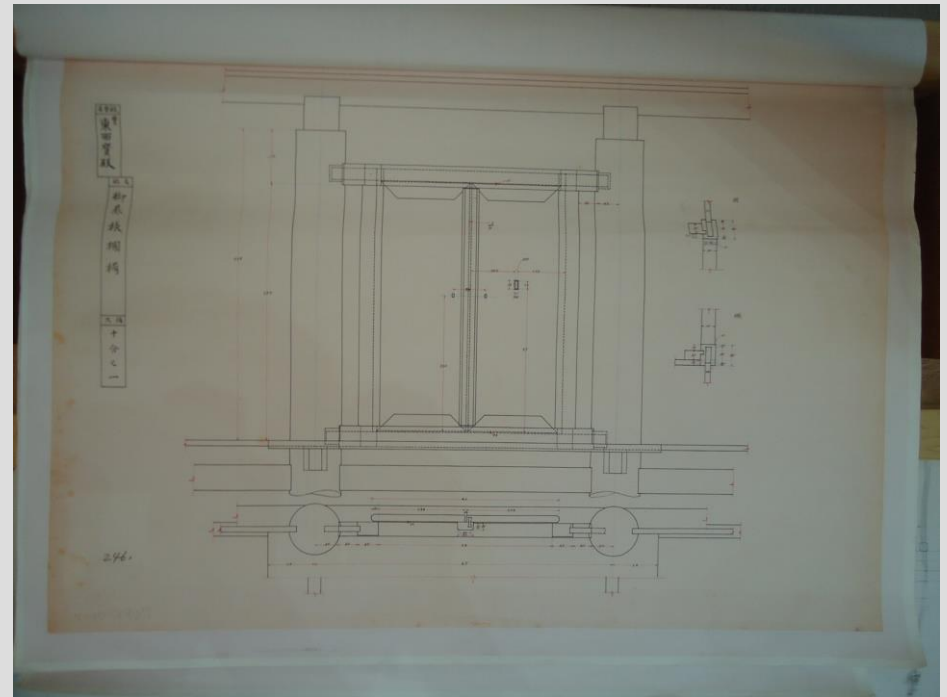
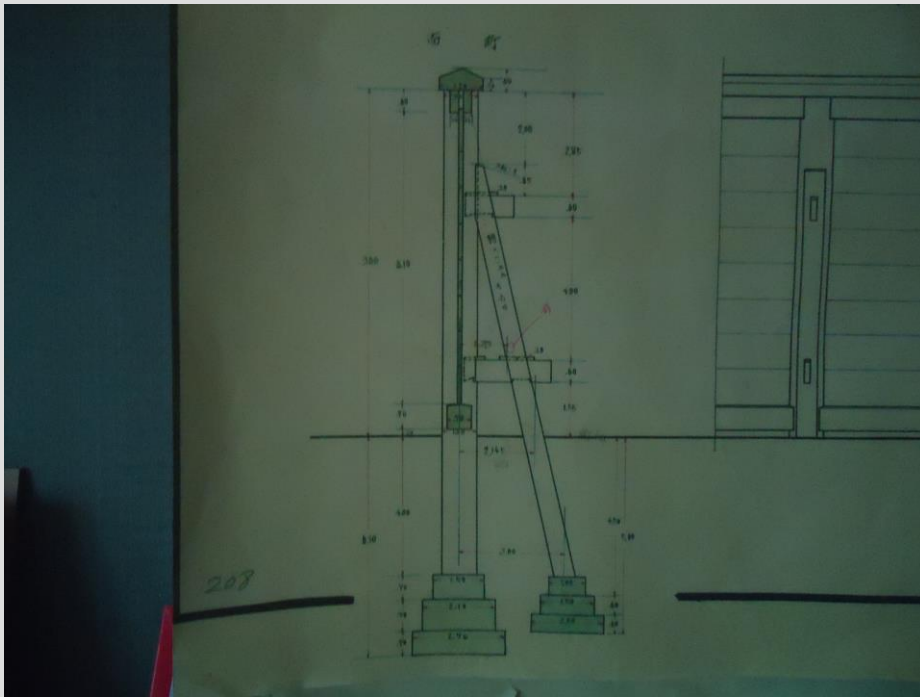
作業場

The Workshop



图面

Technical Drawings



休憩は15分

Breaks are 15 minutes



道具は手作り

Tools are Made by Hand



最新技術と伝統技術

Latest Technology and Traditional Skills



見てはいけない。

Not to be seen.

- 見てはいけない場所
- 見てはいけない材料
- 見てはいけない作業

Places that are not to be seen

Material that is not to be seen

Work that is not to be seen



けがれのしより
穢れの処理
Disposal of the Impurities



天皇陛下からのお言葉

A Word from the Japanese Emperor

このたびの御遷に際し、
誠心誠意勤められたこと
大変ご苦勞であった
ありがとう。

On this occasion of relocation...

I would like to express my sincere appreciation...

To thank you for your hard work.

伊勢の穏やかな一年

A year of calmness in Ise

注連飾り

Sacred Rope (Shimenawa) on Display



子供の名前

The Name of My Children

- 長男 杜公（もく）
- 杜とは神社の境内に生えている木々をさす
- Eldest Son – Moku
- Referring to the wood (moku) that grow within the precincts of the shrine

- 長女 結羽（ゆには）
- 神事を行う場=齋庭（ゆにわ）
- Eldest Daughter – Yimiha
- Referring to the place (yimiha) in which the Shinto Rituals are performed

- 次女 惟月（いつき）
- 朝廷から派遣された天照大神に仕える女性
- 齋の宮
- Youngest Daughter – Itsuki
- Referring to the lady (itsuki) sent by the Imperial Court to service the deity Amaterasu

平成27年～

From Heisei 27 (2015) onward -

せっしゃ まっしゃ
残りの摂社、末社
約80社を
10年ほどかけて建て替える

The rest of the small and miniature shrines (sessha and massha), about 80 or so, are rebuilt over the next 10 years.

令和7年再開

Reopening in the year of Reiwa 7 (2025)



自分との戦い

Fighting against Myself